平成26年5月13日「食肉通信」

工場の決定など

を審議

団体が役員会で

組合、ハム・ソーセージ類公正取引協議会はわれた。このうち、各団体とも25年度事業報の提出議題について承認。そのほか61回優良を行った。

、26年度事業計画・予など66回通常総会の提議題について決議。ま、25年度の資金管理実と26年度の資金管理計、25年度の資材あっせ目標額達成組合などの定についても決議された。

【各団体共通】 経過報告として①日豪経済連携協定大筋合意について②総会関連事項、年間行事日程などの報告があったほか、61回優良従業員被表彰者が決定された。

この中で、「第20回総合衛生管理製造過程にかかわる講習会（専攻編）」が東京都港区の青山会館で6月4〜6日の3日間と、6月16〜18日の3日間の両日程で開催することが決まった。

カリキュラムは1日目＝「HACCPと微生物制御」（小久保彌太郎・公益社団法人日本食品衛生協会学術顧問）、「総合衛生管理製造過程承認申請の実施について」（一般社団法人食肉科学技術研究所）のほか「モデルプランの検討・作成の進め方」「モデルプランの作成演習」

2日目＝「モデルプラン作成演習」（同）、「作成モデルプランの発表・討議」（同）。定員は両日程ともに40人で、締切は5月20日。

そのほかに25年度JAS優良工場も決まった。

日本ハム北海道ファクトリー（北海道旭川市）、北海道千歳ハム（北海道千歳市）、ジャパス青森プラント（青森県上北郡）、銀河フーズ花巻工場（岩手県花巻市）、伊藤ハムデイリー東北工場（宮城県栗原市）

東北日本ハム山形工場（山形県酒田市）、米沢食肉公社加工工場（山形県米沢市）、那須グリコ（栃木県那須塩原市）、丸大食品関東工場（栃木県下野市）、群馬県食肉卸売市場（群馬県玉村町）、冨士ハム（群馬県伊勢崎市）

東新畜産（東京都板橋区）、鎌倉ハムクラウン商会本社工場（神奈川県横浜市）、鎌倉ハム富岡商会本社工場（神奈川県鎌倉市）、JA全農ミートフーズ東日本営業本部神奈川工場（神奈川相模原市）、日本大学生物資源科学部食品加工実習所（神奈川県藤沢市）

東海グリコ（静岡県浜松市）、伊藤ハム六甲工場（兵庫県神戸市）、大山ハム本社工場（鳥取県米子市）、キング食品KFC工場（広島県福山市）、山口グリコ（山口県下関市）、協同食品坂出工場（香川県坂出市）

四国物産食品事業部詫間工場（香川県三豊市）、高松ハム長尾工場（香川県さぬき市）、筑紫ファクトリー（福岡県北九州）、日本ハムファクトリー長崎工場（長崎県東彼杵郡）、大阿蘇ハム本社工場（熊本県熊本市）

続く

ム神戸研

を受けたバラの手当ていが増えており、かつ流行性下痢（PED）影響が避けられないた、今後も高値が続くとる。PEDについては届け出がされていない分も考えると、死亡頭数もケタ（10万頭単位）が見込まれる。

【豪州産牛】 現地の歴史的な干ばつを受けて出し傾向が顕著なた、豪州でも子牛価格が跳ね上がっている。たに、最近では降雨もみられることから出荷を止めおり、そのためさらに高値となっている。

と畜頭数については史上最高の頭数だった2013年よりも頭数が減少ないものの、依然とし、引き合いが強い。

するとみられているにもかかわらず、現在、早出しの影響から13年を上回ると畜ペースとなっており、今後は13年のと畜頭数から20％減になるとみる。これまで輸入シェアがトップだった日本が、いまでは米国や新興国の輸入拡大に伴い買い負けしている。

【米国産牛】 干ばつの影響と円安から現在、全部位で前年を上回る高値で推移。今後も続くものと予想される。

【米国産豚】 13年のPED発生以降、年間飼養頭数の3・5％に相当する400万頭が死亡。14年もすでに10％にあたる1千万頭が死んでいる。ほぼ全州で発生し、養豚が盛んなコーンベルト地帯を直撃している。3月のと畜頭数は前年比6％減。もともと米国ではと畜頭数に占める輸出割合は20％程度に過ぎず、輸出よりも国内需要を優先する可能性は高い。

【日本食肉流通センター】 ◇豚部分肉（チルド） 枝肉相場の高騰も連休明けは少しずつ落ち着いてきているが、高騰を受けて部分肉価格も高値相場を形成している。とくに動きの良いのはモモやウデで、ほかの部位も引き合いは強い。

食鳥市況

国産物は弱め

ブラコスト高

【東京】 ◇国産物 大型連休中、生鮮モモ正肉は620円台前半の値動きで、連休突入前に比べて上昇したものの、小幅な上げにとどまった。連休明けは消費疲れも手伝い、末端消費は鈍いことが予想される。第3週は弱もちあいで推移しよう。

◇輸入物 ブラジル産解凍モモ正肉がスーパーの売り場に並んでいるが、コスト高から目玉商品になりにくかったようだ。現物の商いはコスト高に相場が追いつかない状態で、連休中も相場は終始上げ切らないままとなった。第3週はもちあいか。

食鳥正肉相場

農林水産省統計情報部発表

月・日	4.22	24	25	26	28	5.1
モモ高値	777	768	770	767	766	788
安値	529	550	550	550	566	569
ムネ高値	421	422	422	422	421	422
安値	220	222	220	222	220	222
手羽モト高値	550	550	550	550	550	550
安値	270	270	270	270	270	270
手羽サキ高値	600	600	600	600	600	600
安値	360	360	360	360	360	360
ササミ高値	650	650	650	650	650	650
安値	350	350	350	350	350	350
キモ高値	435	435	435	435	435	435
安値	285	285	285	285	285	285

玉置さんに最優秀賞

東京市場で名人会開催

全国畜産農業協同組合連合会・茨城県畜産農業協同組合連合会・雪印種苗㈱が共催（後援＝東京食肉市場㈱）する第38回「名人会」肉用牛枝肉研究会が4月22、23日の2日間にわたり東京食肉市場で開催された。

2日目の共励会の部では全国から黒毛和種65頭（去勢44頭、雌21頭）が出品され、最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞4点を選出した。審査の結果、最優秀賞には北海道十津川町の玉置久嗣さんが出品した「善作号」がその栄誉に輝き、キロあたり2324円で㈱コシヅカが購入した。

出品牛の平均体重は507㌔、上物率は87.7％、最優秀牛は体型が良く俵型で、サシがしっかりした非常に歩留まりの高い牛と評された。全頭公開中のオレイン酸値は「55％」が35頭（54％）、55％超の「プレミアム」が20頭（31％）だった。

表彰式後の勉強会では、平成25年度全国優良畜産経営管理技術発表会（中央畜産会主催）で同会副会長の佐藤宏弥氏が最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞したことが報告された。

さらに、去る3月26日に京都大学で開催された「高品質牛肉の生産に関する研究会」で茨城県畜連の中川徹理事統括部長が「肥育牧場におけるビタミンCの給与事例」と題して名人会の配合飼料「雪名人」での先行事例として紹介したことを報告。牧場紹介では、全畜連研修牧場の藤田朋久氏が報告した。

共励会の上位入賞牛出品者は次のとおり。

最優秀賞 玉置久嗣（北海道十津川町、名号「善作」、去勢、枝肉重量571㌔、ロースしん面積81平方㌢、BMS No.12、単価2324円、購買者＝コシヅカ）▽優秀賞1席 森田滝夫（北海道江別市、「隆晴華」、同、455㌔、67平方㌢、No.11、2557円、同）▽同2席 鈴木敬（宮城県蔵王町、「ぱこちゃん」、雌、435㌔、62平方㌢、同、2463円、明治屋）

優良賞 ㈲加藤牧場（茨城県日立市、「安次郎」、去勢、563㌔、83平方㌢、No.12、2184円、丸金おおつか）、新冠町有牧野（北海道新冠町、「北乃大地」、同、495㌔、78平方㌢、No.11、2349円、富作商店）

迫田隆（北海道津別町、「迫田85492」、同、539㌔、76平方㌢、No.9、2300円、日山畜産）、ロイヤルファーム（青森県八戸市、「花安平」、同、523㌔、84平方㌢、No.11、2121円、コシヅカ）

大型物流施設を起工

イズミ 広島物流センター

イズミは4月23日、広島市西区で「イズミ広島物流センター」（仮称）の新築工事を起工した。広島県内のドミナント戦略を深化させる目的で、いままで分かれていたドライ・チルド機能を集約し効率化を進め、年間予定通過金額600億円以上の大型物流施設を整備するもの。

今春開通した広島南道路や西広島バイパスなどの幹線道路から至近距離に立地しアクセスは良好。広島県西部から島根県、山口県をカバーする広域配送拠点として期待される。

取引先企業の倉庫や広島市中央卸売市場にも近く、生鮮の鮮度の良い状態での輸送も可能となる。

施設概要は次のとおり。

名称 イズミ広島物流センター（仮称）▽所在地 広島市西区草津港3－8－27▽敷地面積 約2万8600平方㍍▽建築面積 約1万9200㍍▽延べ床面積 約2万6800㍍▽構造 鉄骨づくり・地上2階建て。

設備 ①冷蔵庫リー、精肉、鮮果、総菜）②常温品、菓子、酒、衣住居関連）③垂直3基④貨物用エレー1基⑤接車バー出庫）87台⑥全館証明▽投資 約55従業員数 約19稼働予定 201月。

なお、統合予定センターは、広島センター（201通過金額346億品・菓子の保管・・配送など）、広ド第一センター円、鮮魚・総菜の・配送）、広島チニセンター（81億肉・総菜の仕分送）、広島チルドンター（116億イリー・総菜の仕配送）

最優秀はヒライ牧場

加古川公社が牛共励会

第2回公益財団法人加古川食肉公社牛枝肉共励会が4月22日、加古川食肉地方卸売市場で開かれ、黒毛和牛65頭が出品された。

入賞牛の出品者および購買者は次のとおりとなっている（格付はすべてA5等級）

最優秀賞 ヒライ牧場（枝肉重量442㌔、BMS No.12、販売単価3850円、購買者＝スターゼンミートプロセッサー）▽優秀賞1席 谷口隆博（333㌔、No.12、3610円、エスフーズ）▽同2席 安藤登（494㌔、No.11、2330円、マツオカ）▽同3席 今滝亨（519㌔、No.11、2150円、エスフーズ）

優良賞 中尾牧場（401㌔、No.10、3155円、本神戸肉森谷商店）、アグリランドミスミ（448㌔、No.10、2090円、JA全農ミートフーズ）、ヒライ牧場（470㌔、No.10、3015円、全農兵庫県本部）、川原勝廣（465㌔、No.10、2160円、エスフーズ）

滝会長の再選承認

ユニーグループ会総会

ユニーグループ会（会長＝滝茂夫・タキヒヨー㈱会長）は4月16日、名古屋市西区のウェスティンナゴヤキャッスルで平成26年度定時総会を開催。ユニーグループ・ホールディングス㈱（以下＝ユニーGHD）関係者および取引先企業など約700社・1400人が出席した。ユニーグループ会はユニーグループの取引先企業で構成されるもの。

冒頭、滝会長は流通大手の歴史を振り返るとともに「売り場では感動、楽しさを実現することが重要。われわれベンダーは2ランク上の商品、すき間を埋める商品を行うべき。商環くないが、ユニープとともに成長しとあいさつ。

議事では会計報告、新入会員報告、新役員の承認がいずれも可決され、新入会員として伊藤ハムミート販売西

13施設目のモール

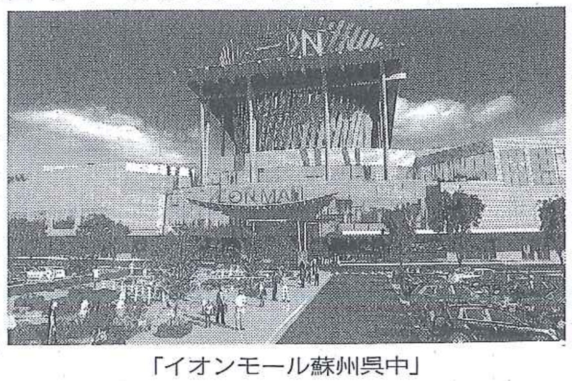
イオンが中国江蘇省に

イオンモール㈱および永旺夢楽城（蘇州）商業管理有限公司は4月25日、中国江蘇省蘇州市呉中区に江蘇省発のショッピングモール「イオンモール蘇州呉中」をグランドオープンした。

核店舗「イオン蘇州呉中店」（イオン華東〈蘇州〉商業有限公司）のほか、約190の専門店で構成される。地上3階地下1階建て。延べ床面積は約15万4600平方㍍。

同モールは1993年に設立された経済特区「呉中経済開発区」に立地。2012年には国家級経済開発区に昇格され、自動車15分圏内に120万人の人口を有し、マンションや学校、病院、観光など総合的開発が進められている地域。

今回の出店により、中国国内でのイオングループのモール型商業施設は13施設、イオンモールが運営するショッピングモールは5施設となる。「イオン蘇州呉中店」の食品売り場ではPB「トップバリュ」（中国版）を導入し、レディミールシリーズや冷凍食品の品ぞろえを充実させるほか、畜産では地元ブランド「蘇州豚」を取り扱う。



「イオンモール蘇州呉中」

新店オープン

首都圏で居酒屋業態などを展開するユナイテッド＆コレクティブ㈱（東京都港区）は、国内での好調な業績を追い風に居

teke teke

―（

酒屋ブランドのけ」を4月26日ーに「tekee Yangoin Branしてオープンさせ

ミャンマーはばく、ここ数年で日本企業が次つぎに進出。それに伴い日本食料理店も急増している。旧首都のヤンゴンでは日本食を提供する店舗は100店舗以上になっており、月間で3〜4店舗ペースで増加している。

今回、オープンした「teke teke Yangon